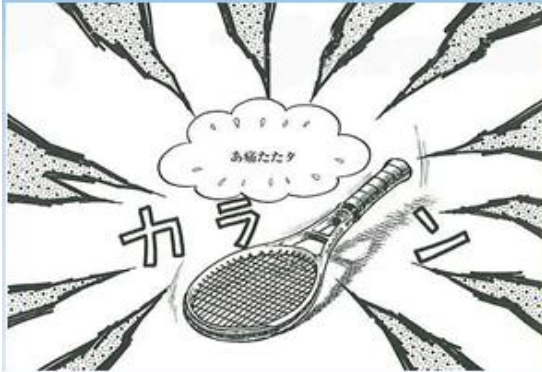


全日本医師テニス大会 (2009-2012) における 障害調査



日本医師テニス協会

担当 : 林 光俊
桂木昌子
萩原博道
原 文雄
矢住孝昭

イラスト : 石川正順

(2013.03.18作成)

【目的】

1大会で約300名が出場する
医師のテニス全国大会における
テニススタイル と 障害調査
医師ならではの治療・予防方法を調査した



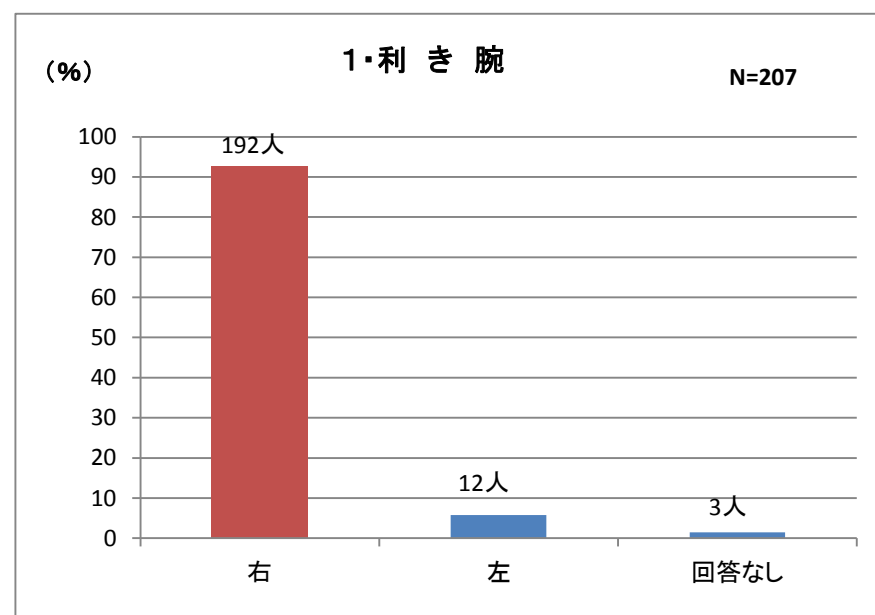
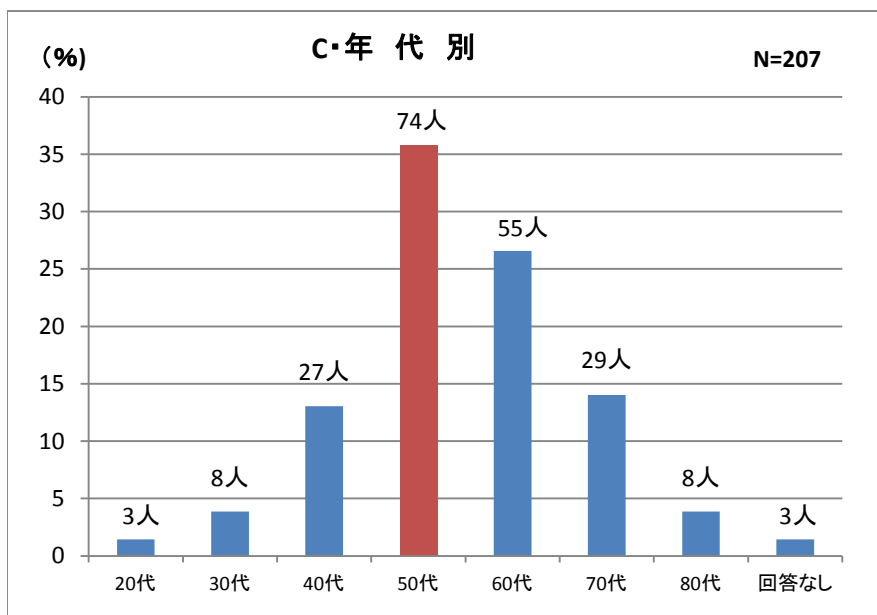
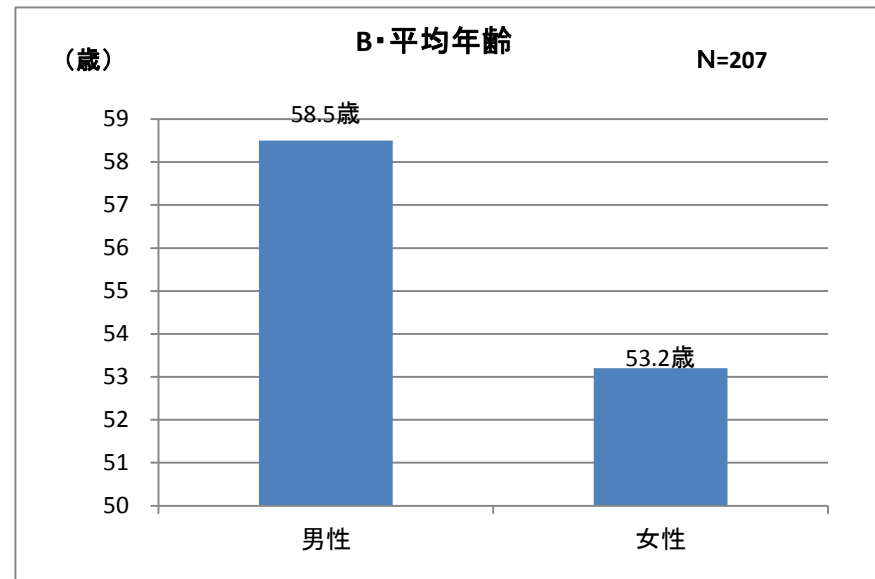
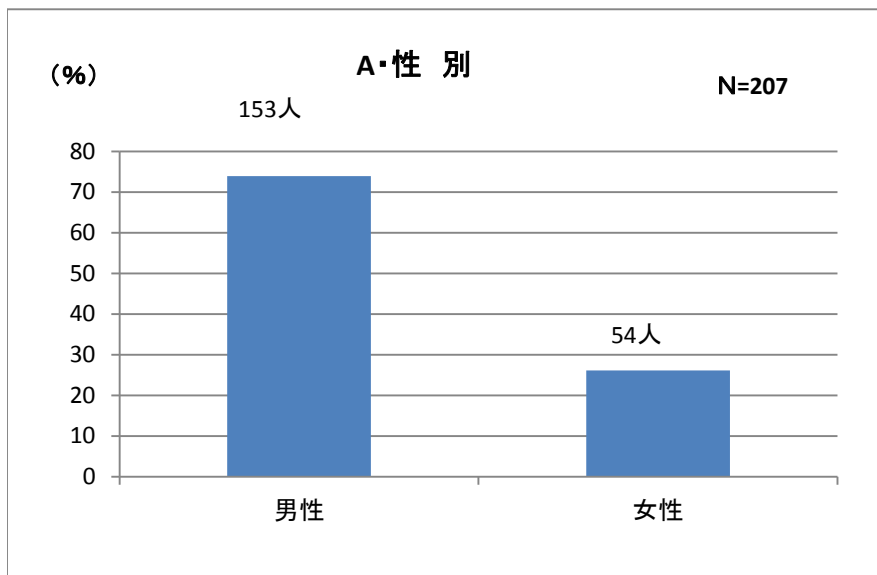
開会式

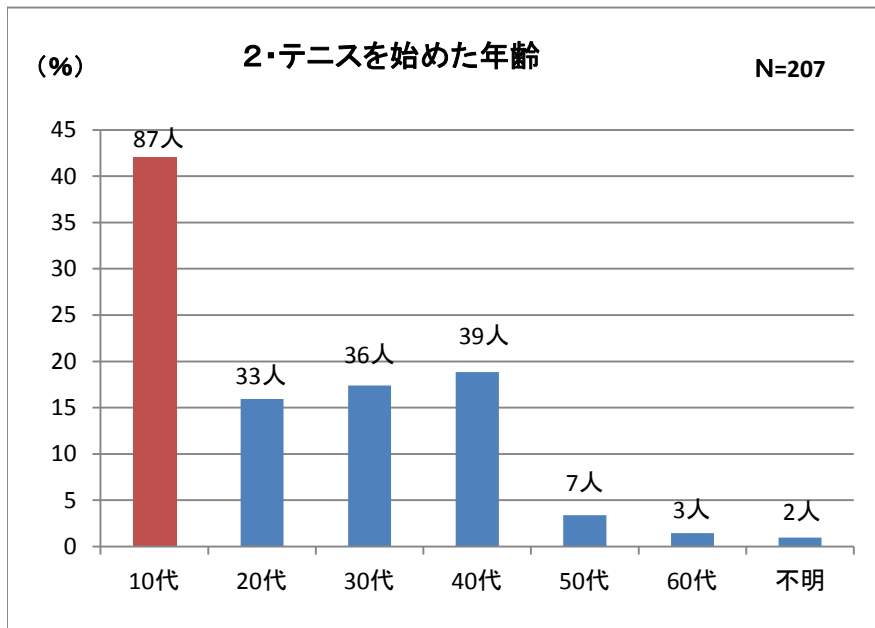
【方法】

全日本医師テニス大会

09年10月広島大会
10年10月山口大会
11年10月千葉大会
12年11月熊本大会 に参加した選手へ

37項目のアンケート調査を行った
アンケートは重複提出を避けた(一人一回のみ)

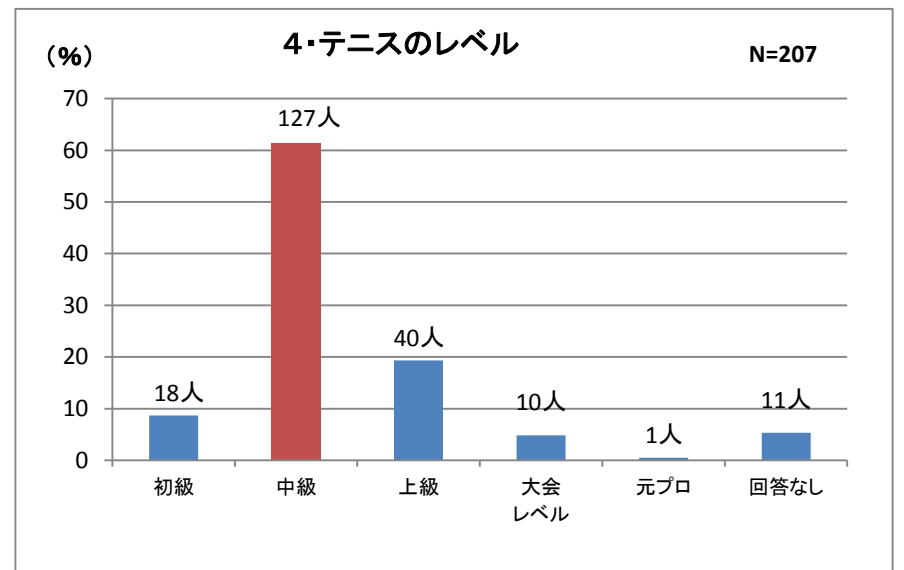
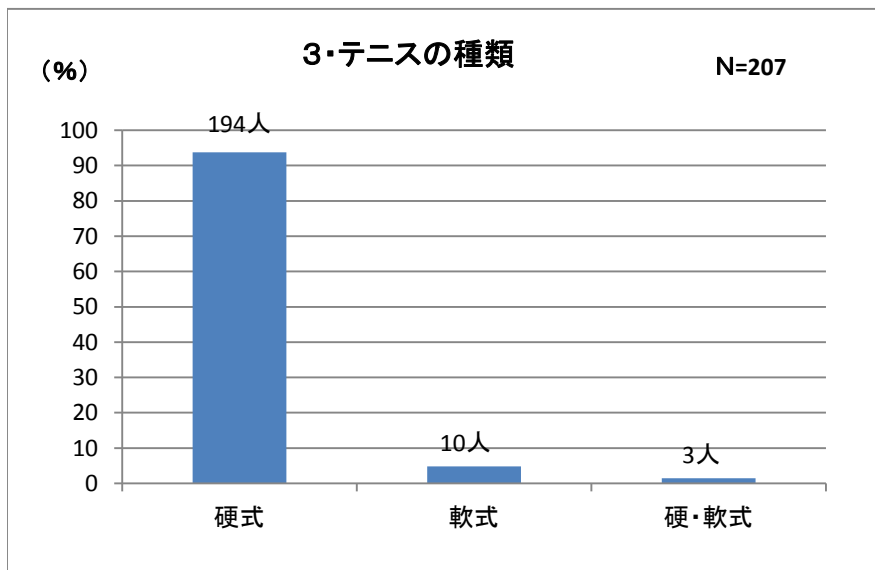


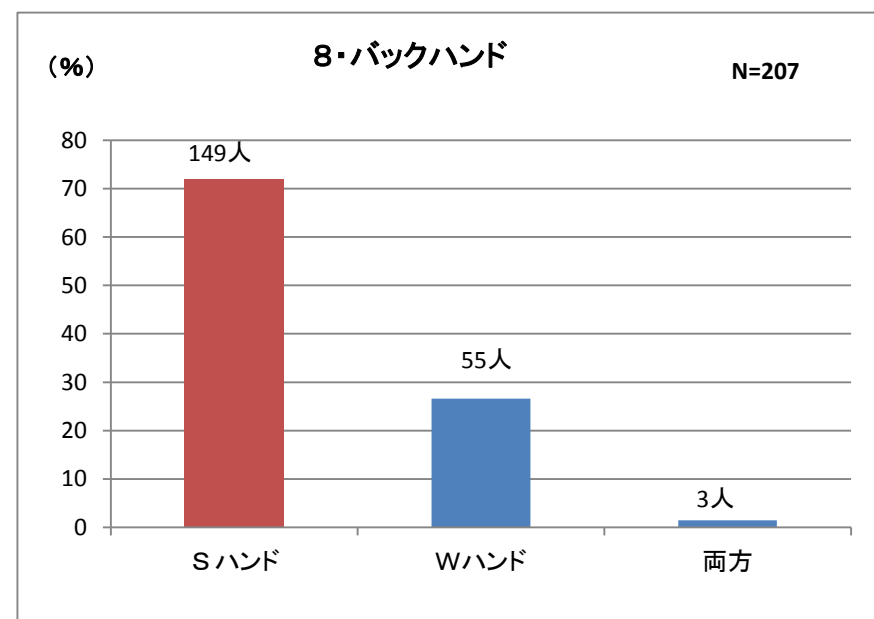
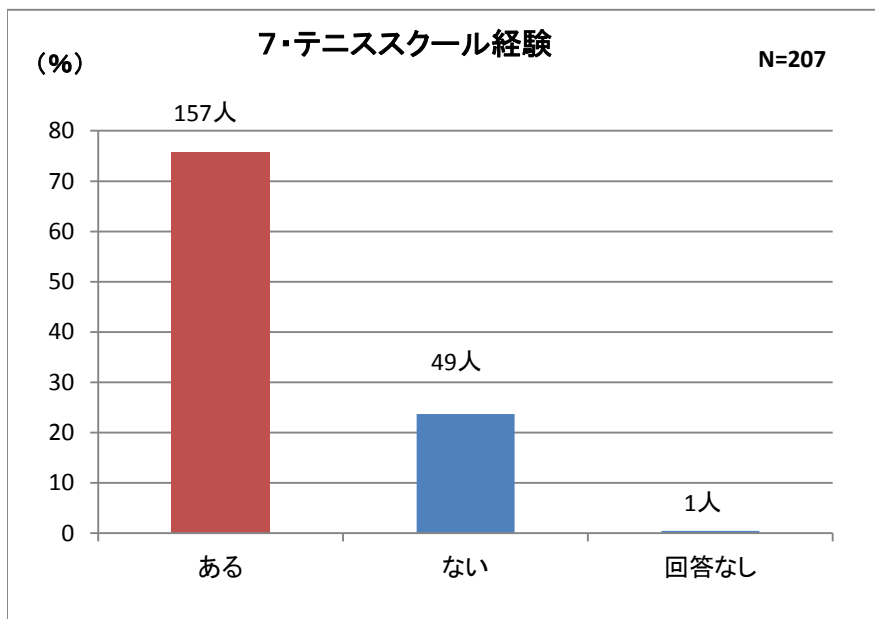
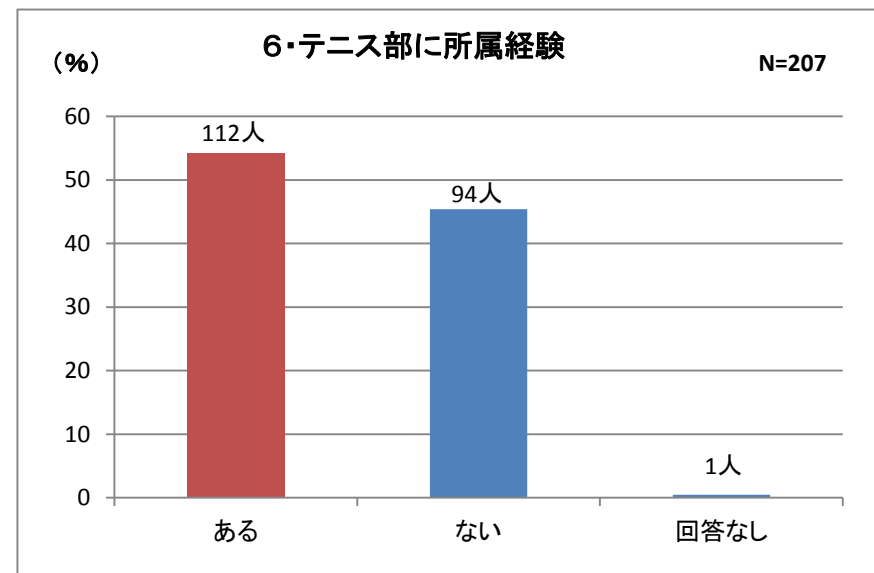
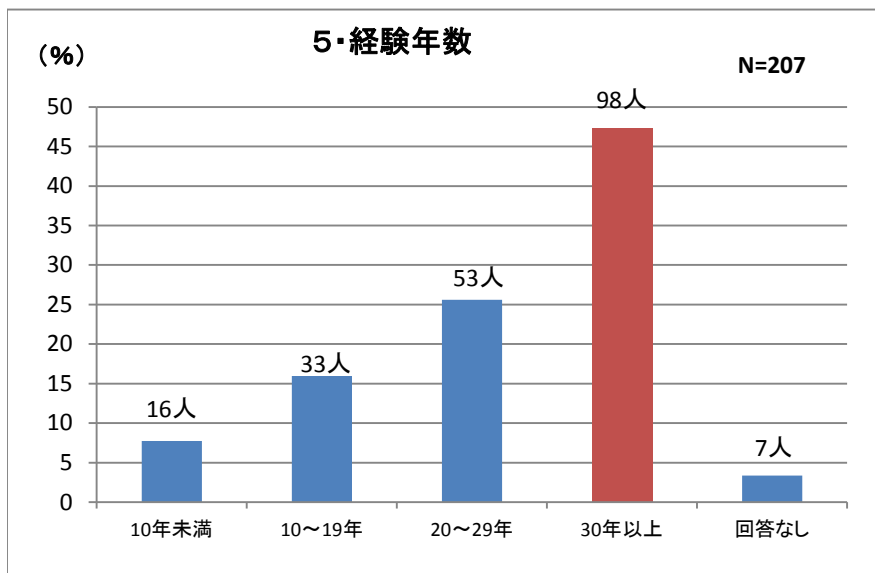


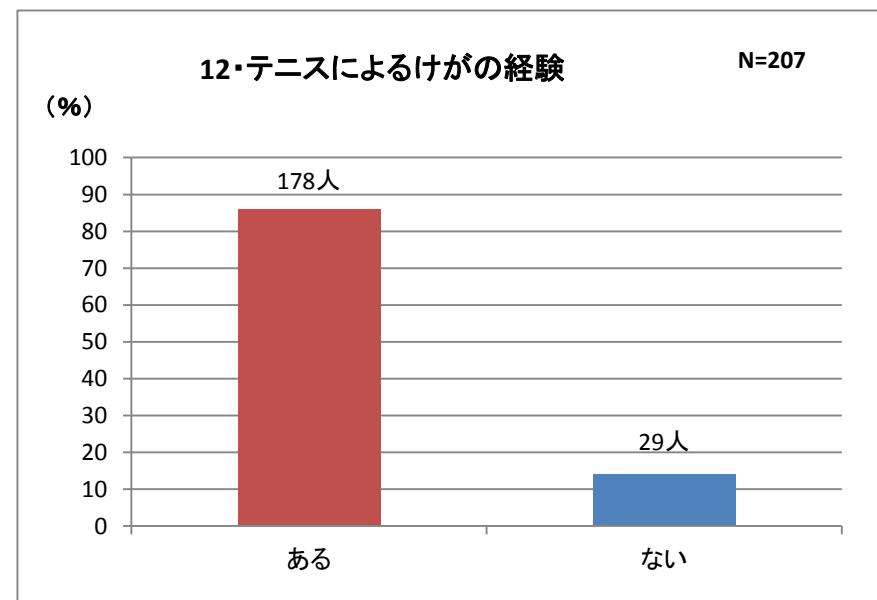
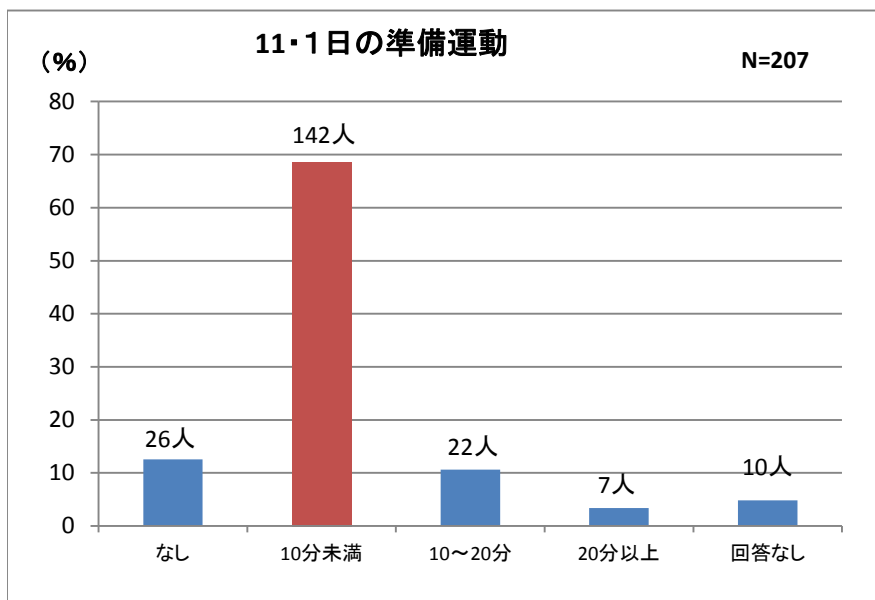
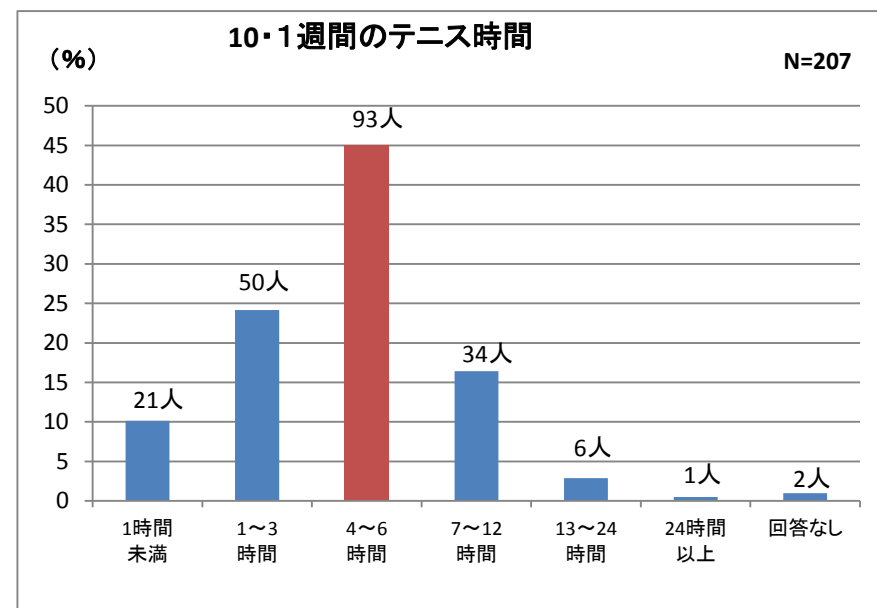
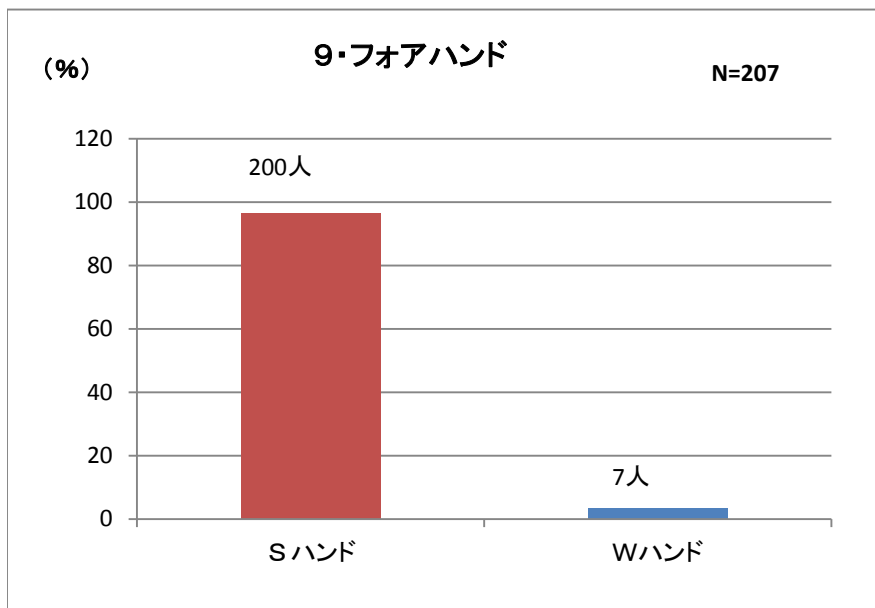
テニスを始めた年齢は10才代が最も多く41.7%で、経験年数は30年以上が48.2%と最も多かった。

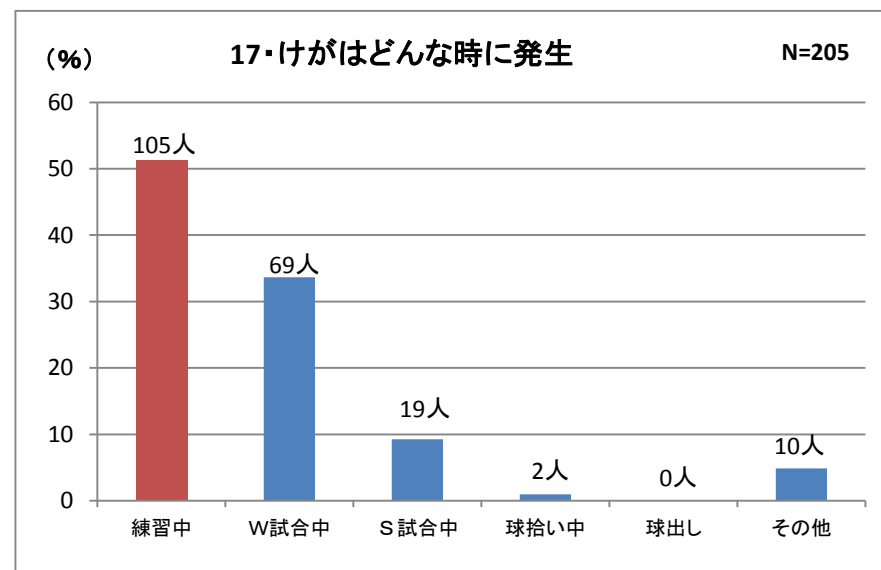
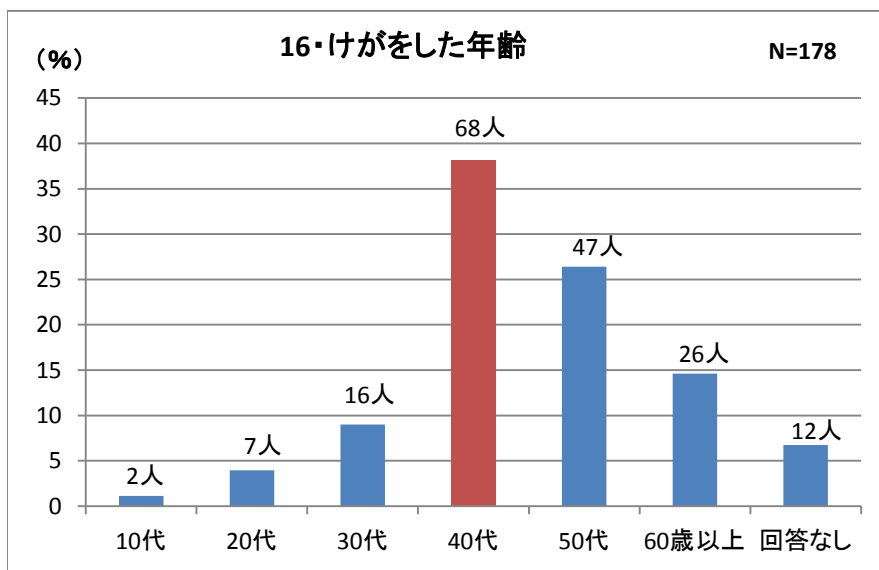
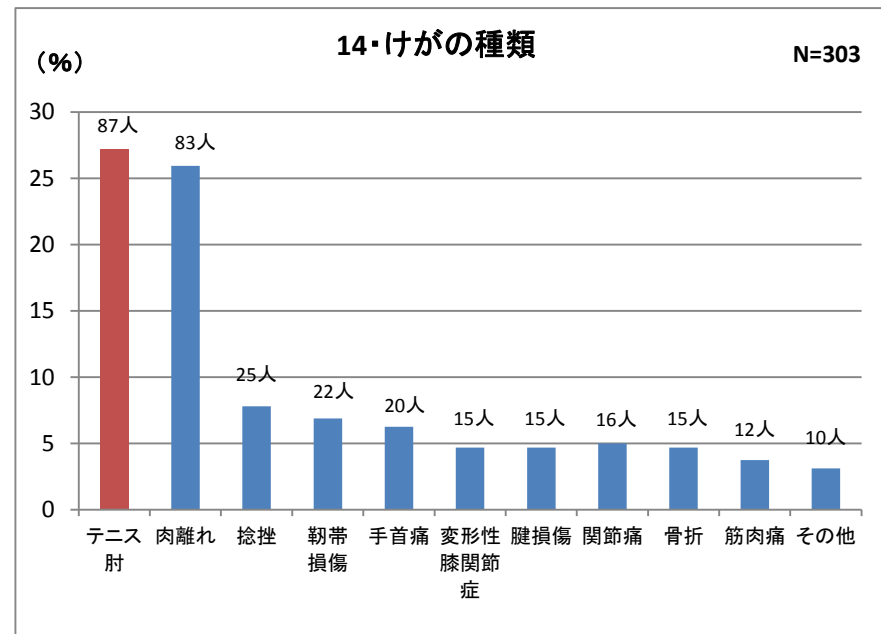
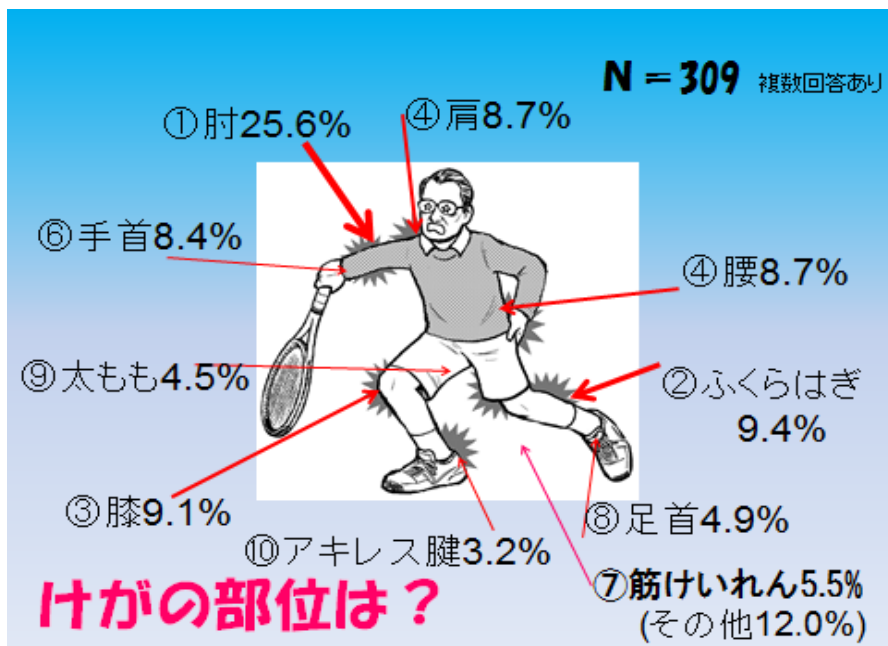
(自己評価) テニスレベルは中級が60.7%、中上級者以上で86.3%を占め、皆テニス院自慢者であった。

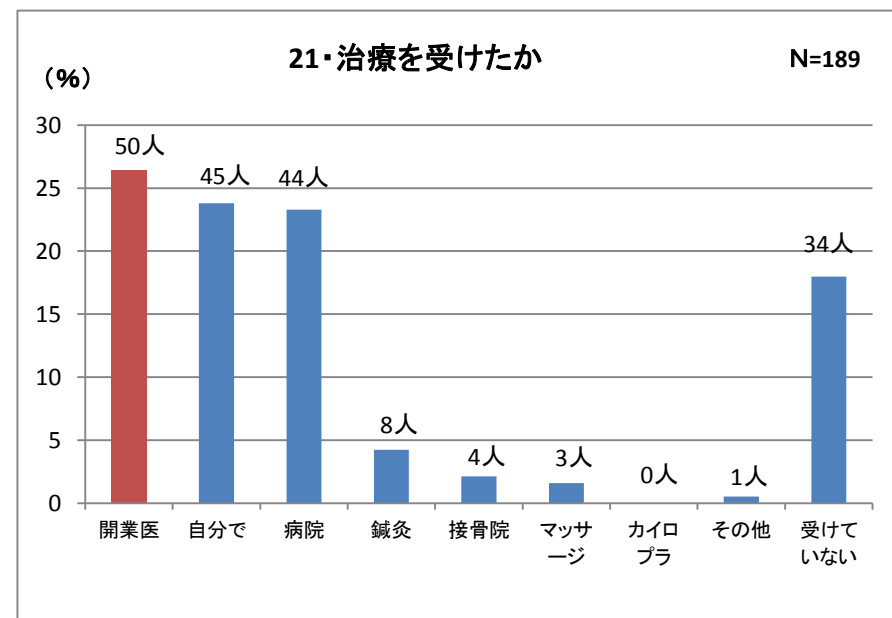
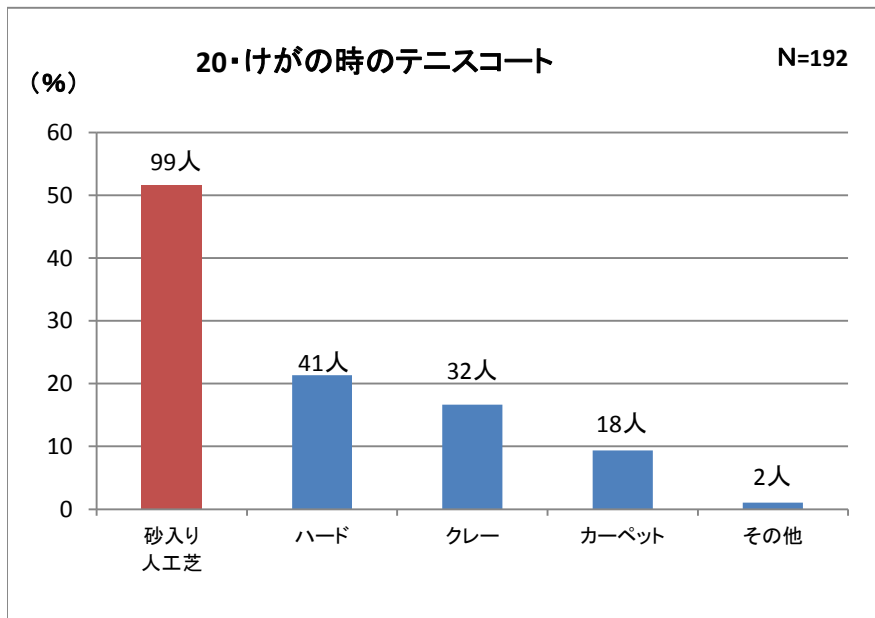
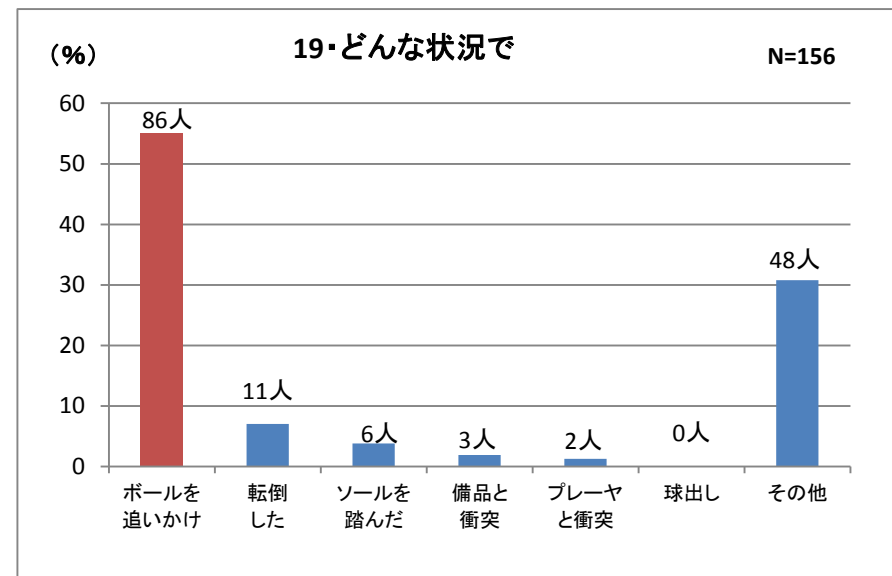
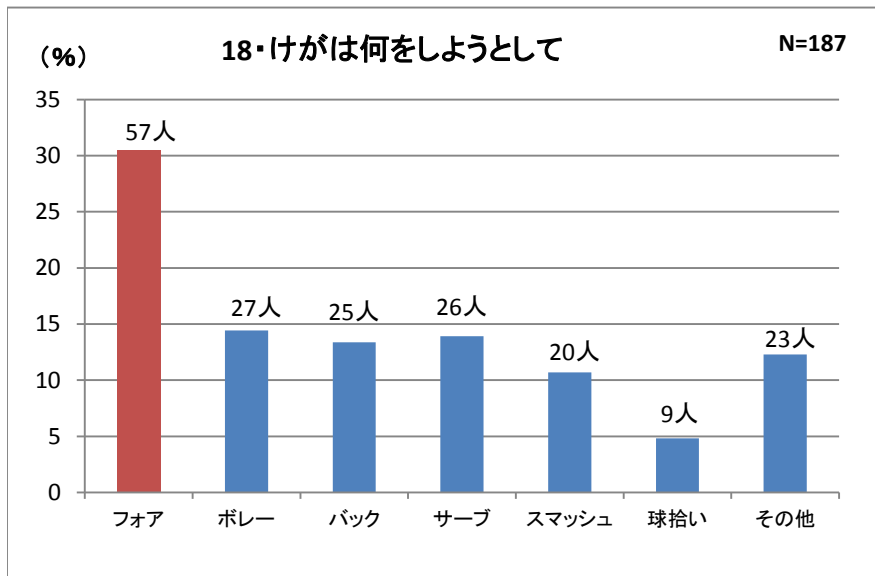
学生時代にテニス部経験者は57.1%で、テニススクール経験者は76.8%と、自己流選手は少ない。

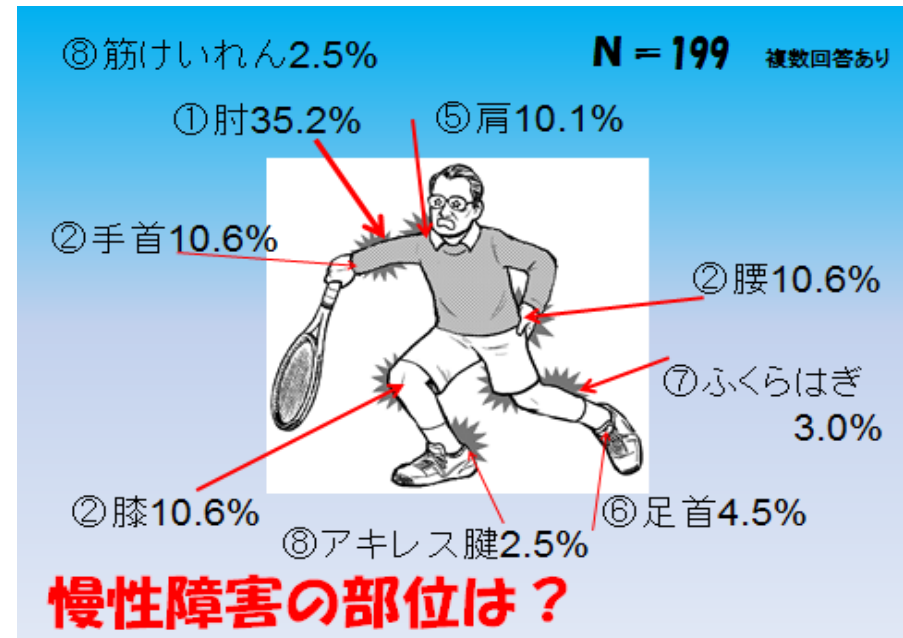
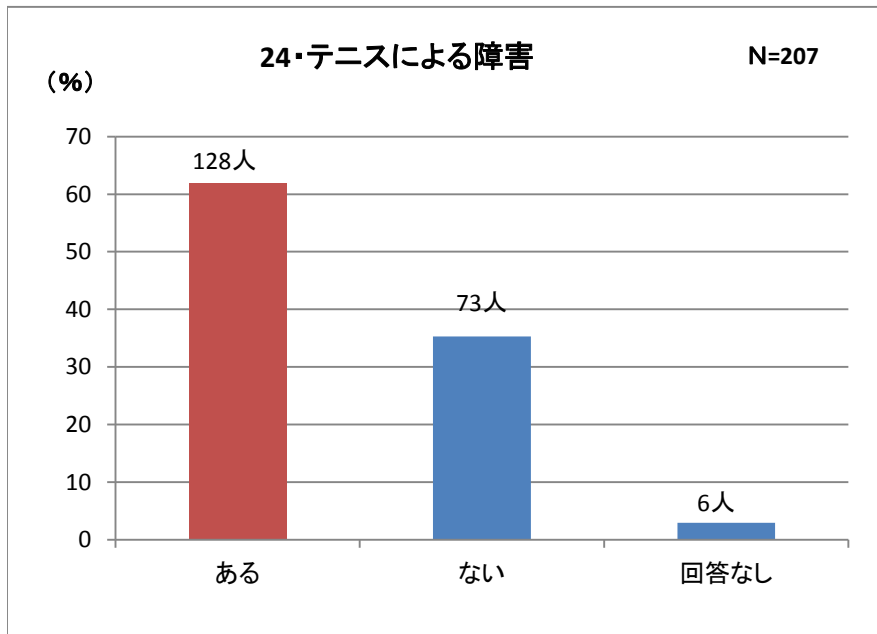
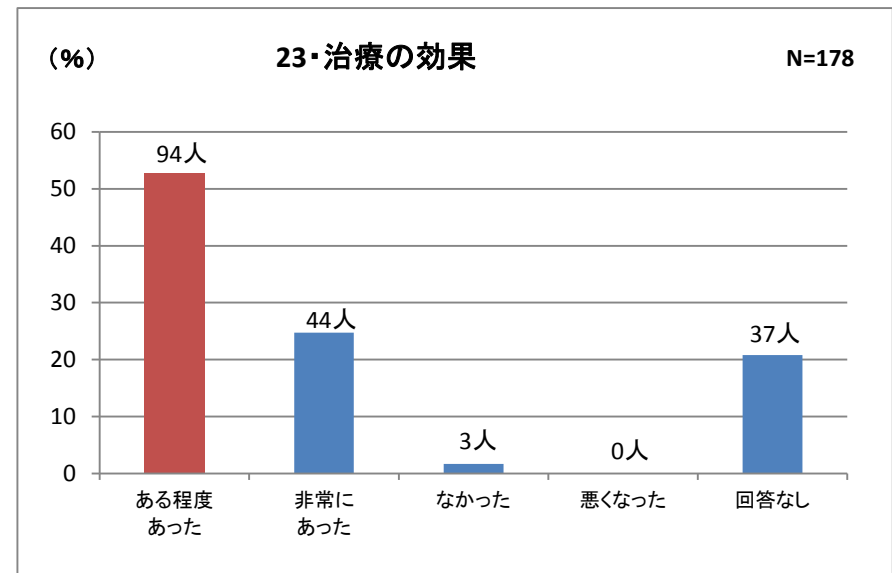
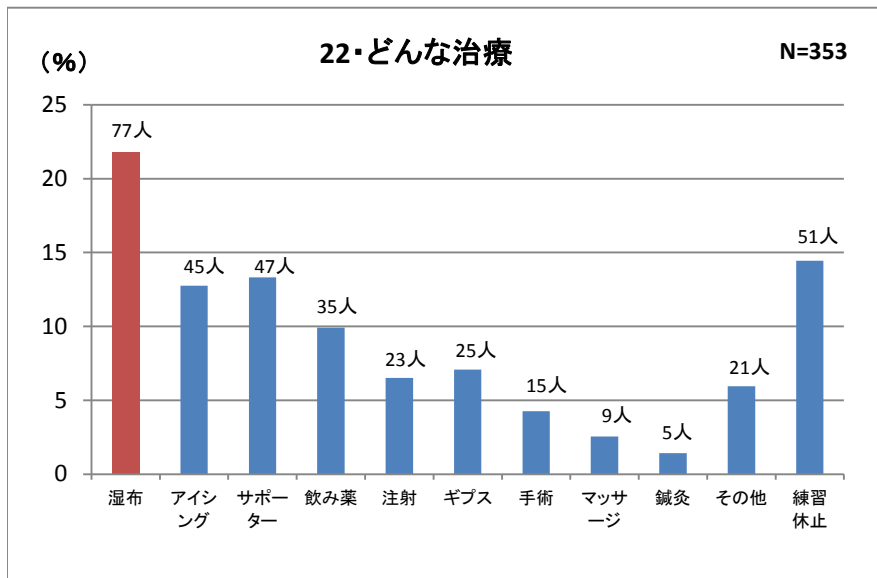


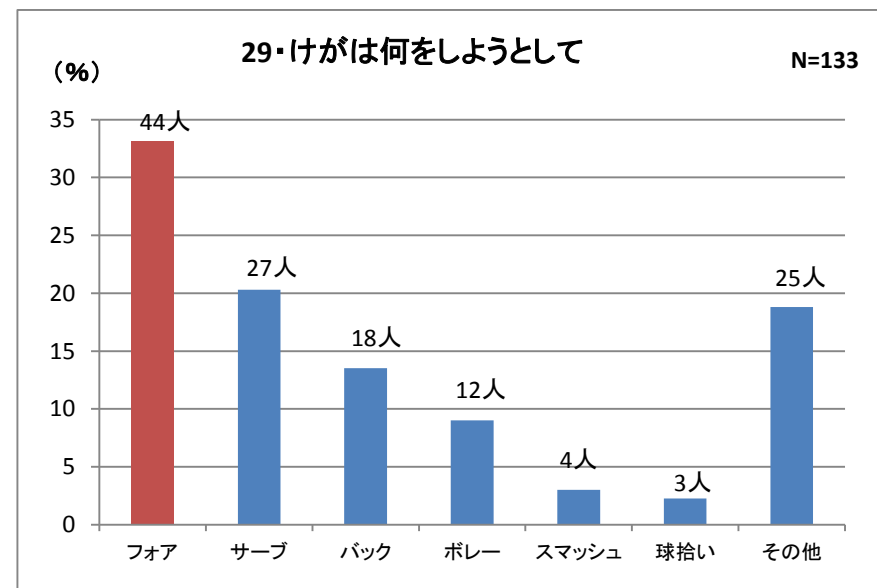
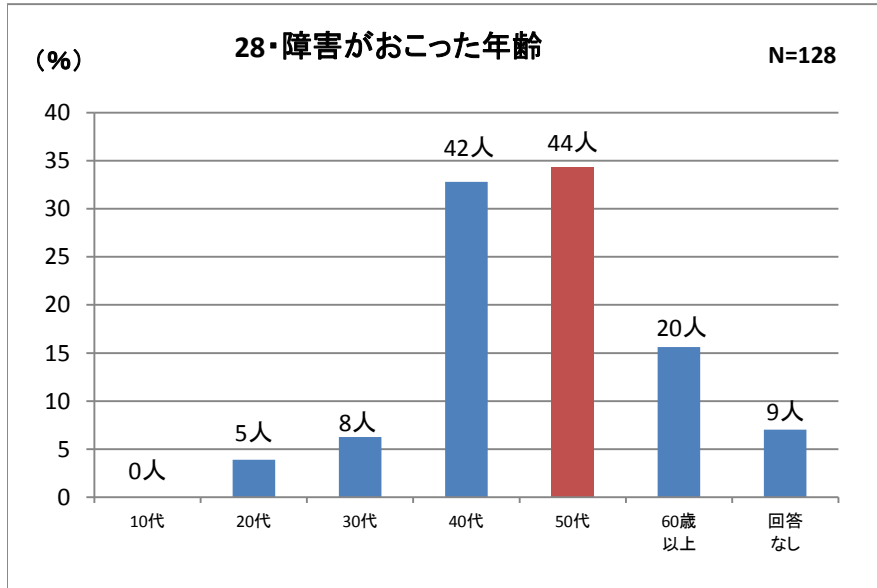
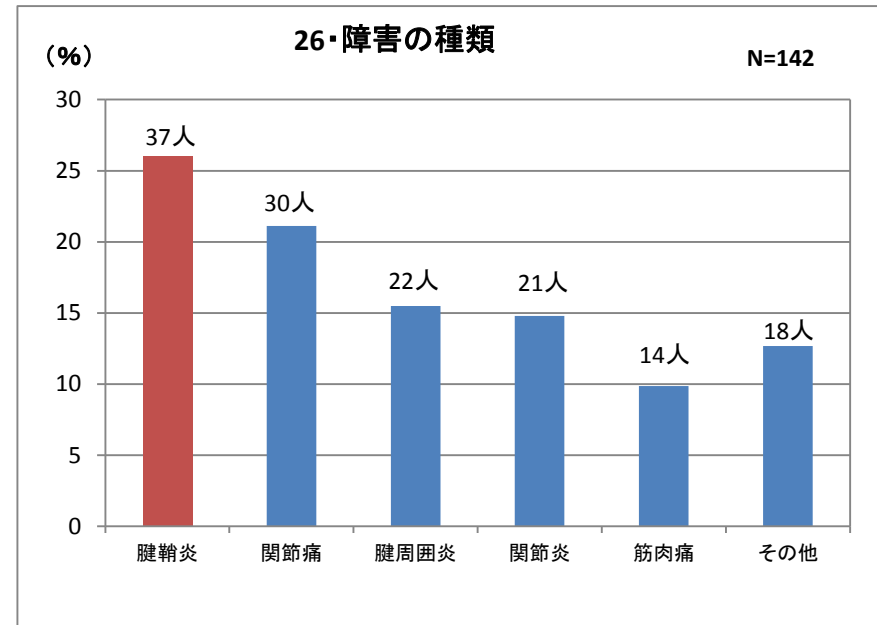
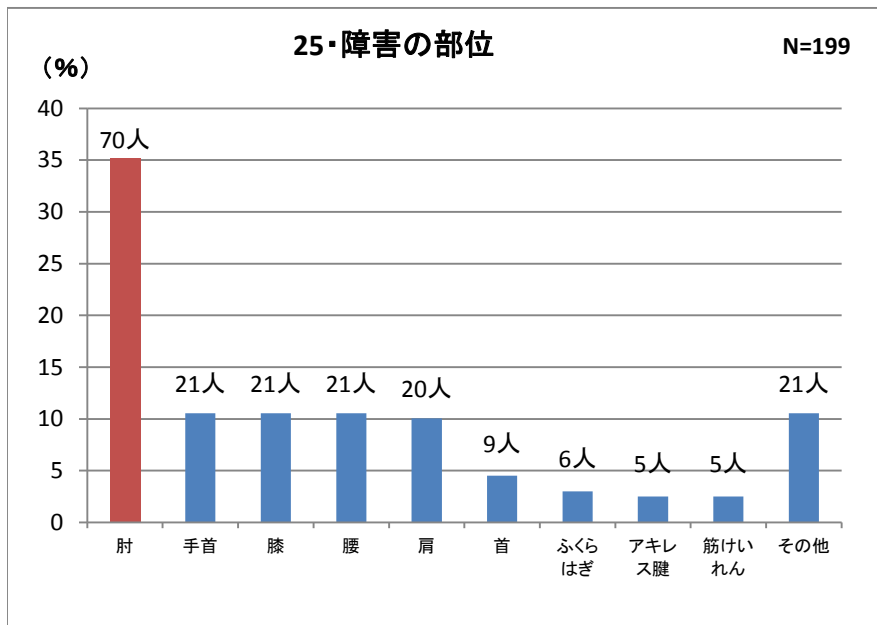


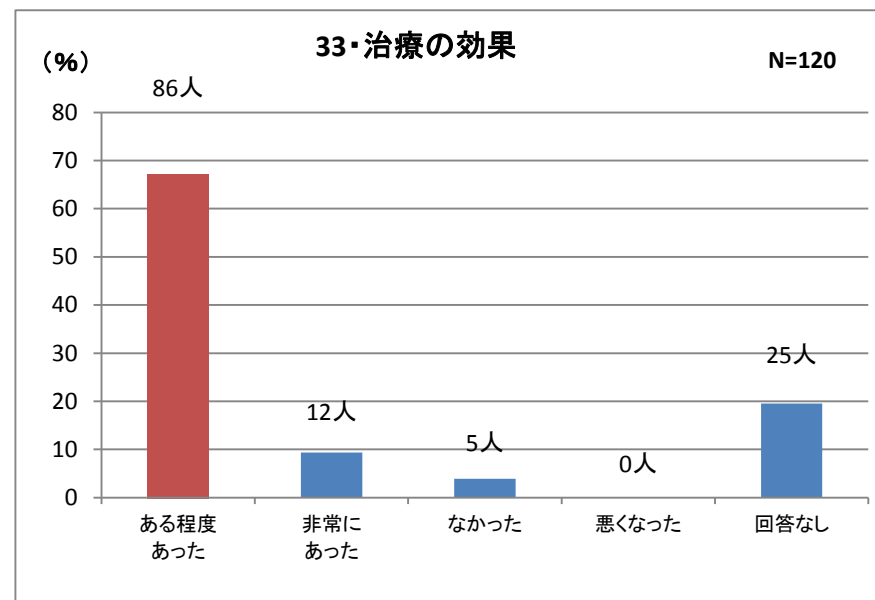
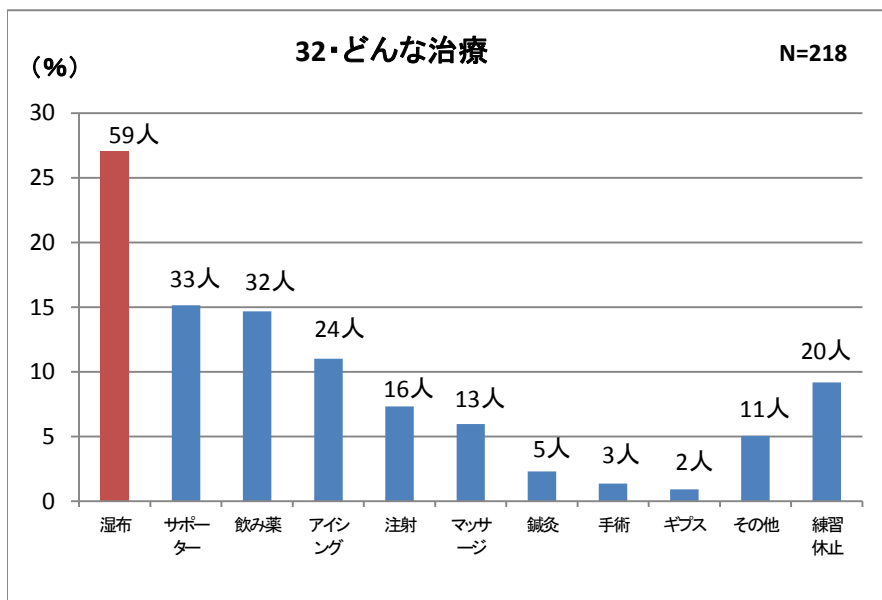
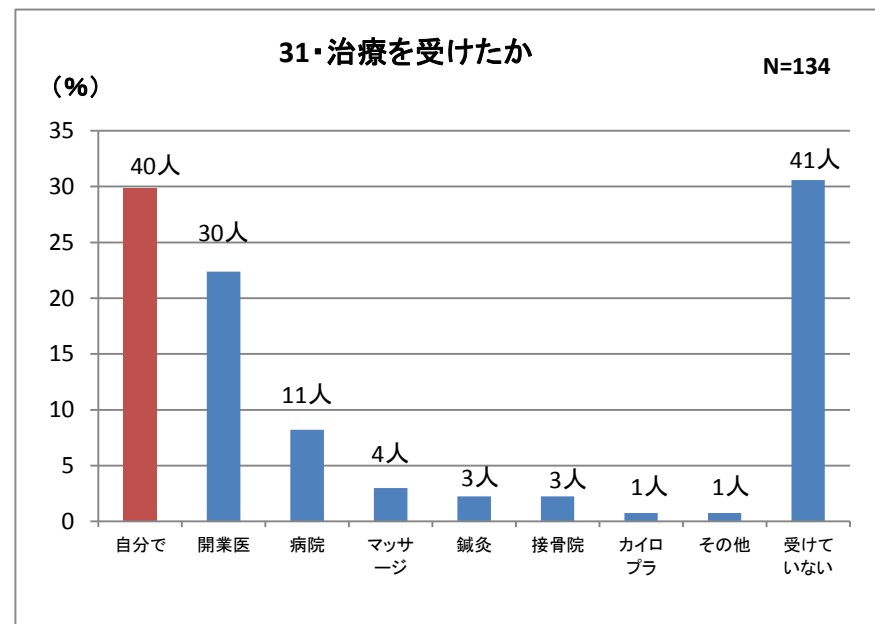
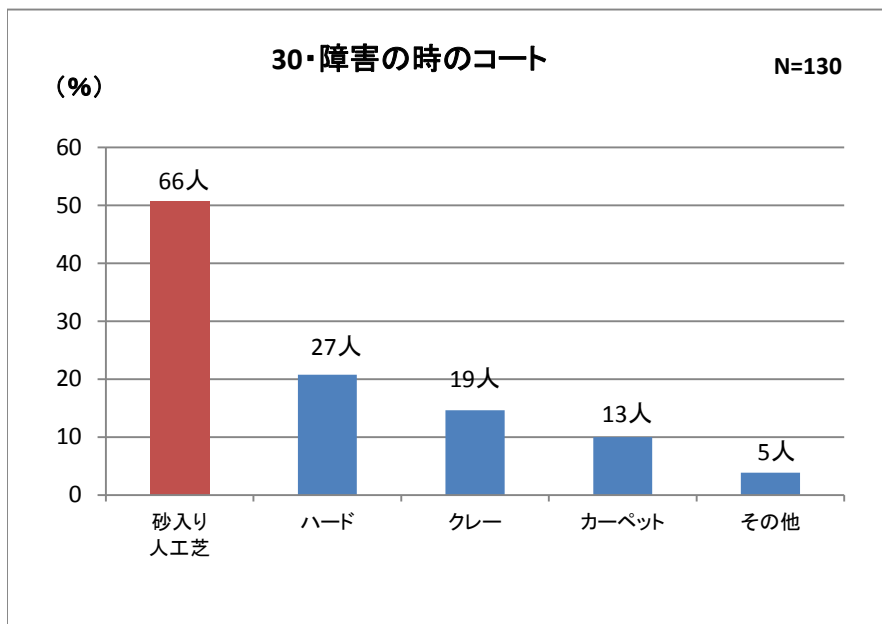


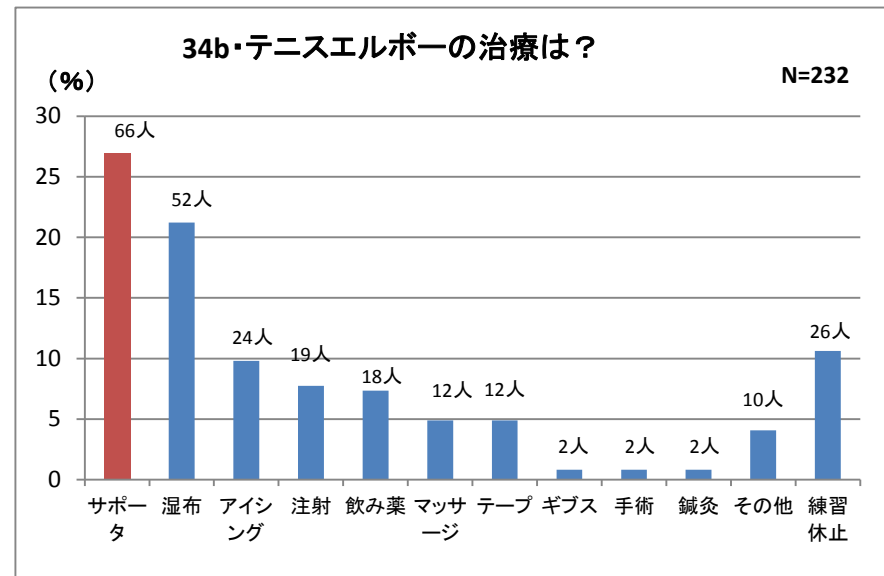
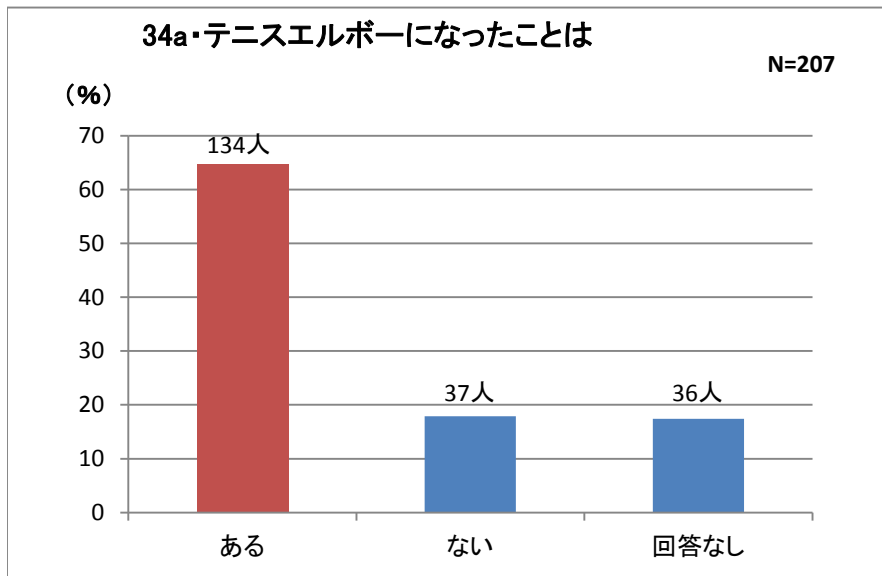


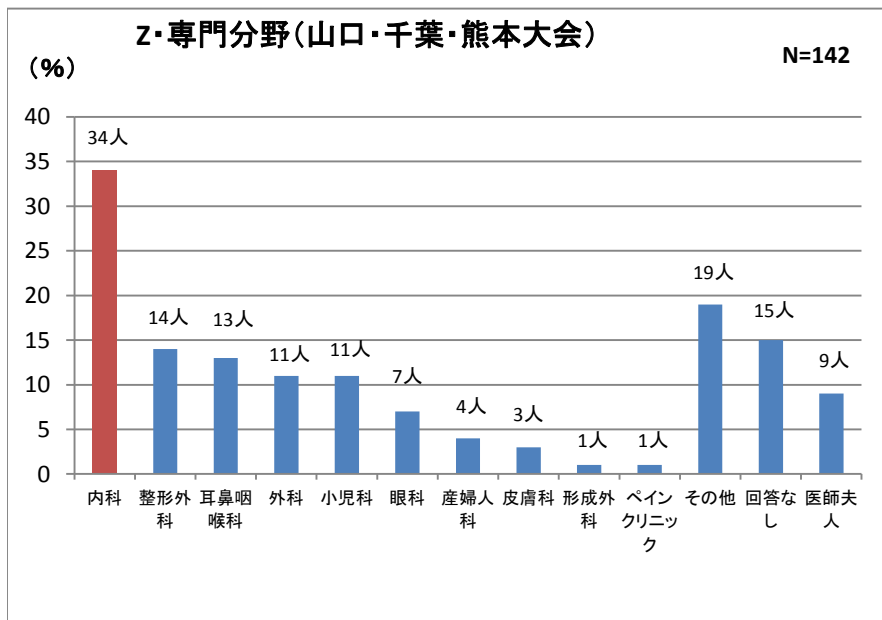
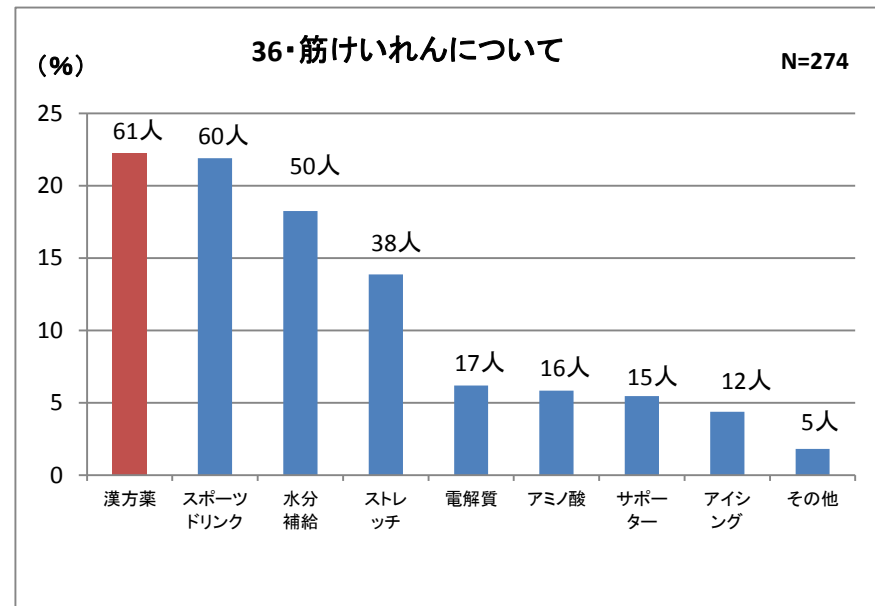
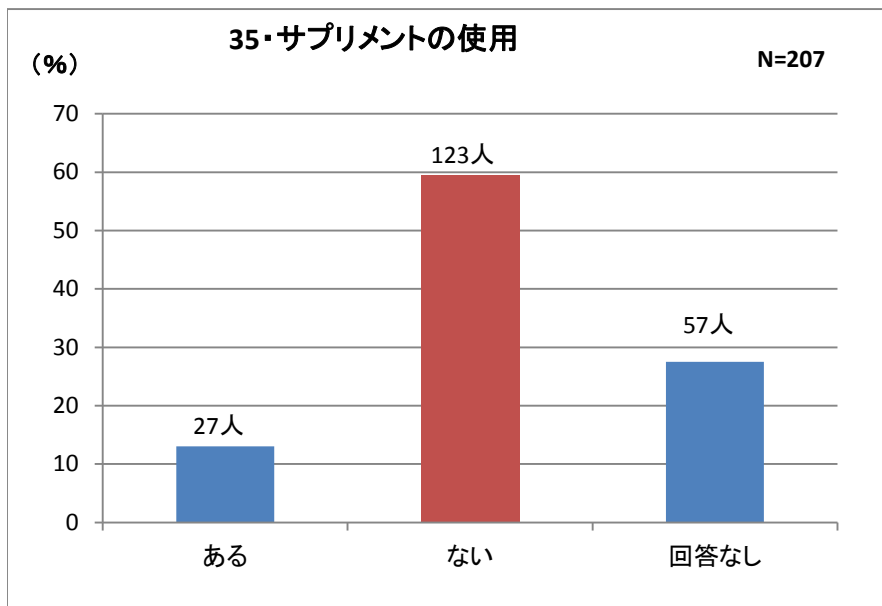












参加した平均的医師テニス選手像

平均年齢**60歳** 経験年数**30年以上** 主に中上級者
フリースタイル：**片手フォア** & **片手バックハンド**



準備運動**10分未満** (あまりしない)
怪我しても**自分で治す?** タイプが多い。
独特の治療法は持っているようで、、、 **ホント?**
怪我に対する診断などは**的確に把握**していた。



まとめ

参加者最高年齢**87歳**の2名を筆頭に、
医師テニス競技の
全国大会に参加した選手は、
経験年数が**30年以上**で、
平均年齢が**59才**と一般競技に比べ
高かった。

演者自身が大会に参加した印象として、
テニス好き医師は**自身で健康管理に努め**、
テニスライフを**エンジョイ**しており、
年齢が高くなっても**元気に活動**していた。
(見習いたい!)



ご協力ありがとうございました

Game set & match



Japan Medical Tennis Society
2013.03.15 作成